

製品名: 切断型カスパーゼ 6 p18 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00828**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 20,35 kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP6
別名	CASP6; MCH2; Caspase-6; CASP-6; Apoptotic protease Mch-2
遺伝子 ID	839
SwissProt ID	P55212
免疫原	抗血清は、ヒトカスパーゼ 6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 130-179

背景

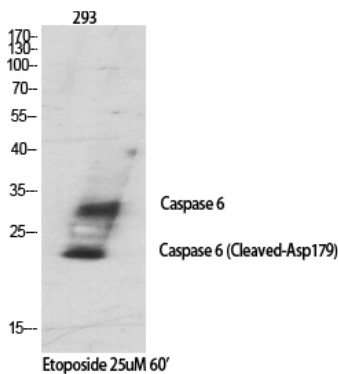
カスパーゼ 6 (Mch2) は、細胞のアポトーシス過程において機能する主要な死刑執行カスパーゼの一つです。アポトーシス刺激を受けると、カスパーゼ 9 などの開始カスパーゼが切断され活性化されます。活性化された上流カスパーゼは、カスパーゼ 3 やカスパー

ゼ 6 などの下流死刑執行カパーゼを大小のサブユニットに切断することでさらに処理し、アポトーシスに至るカパーゼカスケードを開始します。カパーゼ 6 の主要な標的の一つは、膜結合タンパク質であるラミン A です。

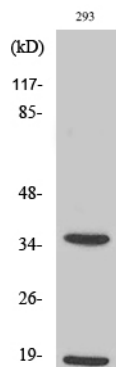
研究分野

細胞生物学

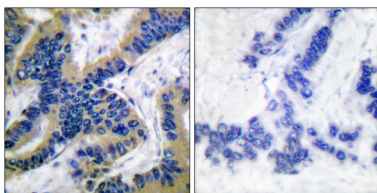
画像データ



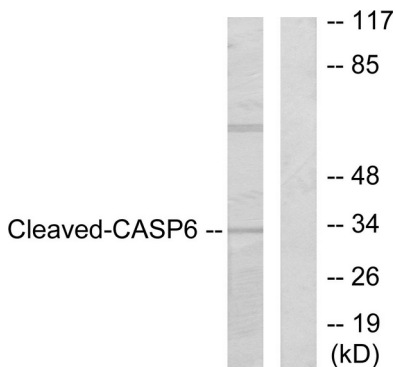
Cleaved-Caspase 6 p18 抗体を使用した、さまざまな溶解物中の Cleaved-Caspase 6 p18 のウェスタン プロット分析。



Cleaved-Caspase6 p18 (D179) 抗体を使用した 293 溶解物中の Cleaved-Caspase 6 p18 のウェスタン プロット分析。



パラフィン包埋ヒト肺癌組織のカパーゼ 6 (切断型 Asp16, 2) 抗体を用いた免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用した。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。



Cleaved-Caspase 6 p18 抗体を使用して、エトポシドで処理した 293 溶解物中の Cleaved-Caspase 6 p18 のウェスタン プロット分析。右側のレーンは、合成されたペプチドでブロックされています。

